

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年4月19日時点)

➤ **ウクライナ軍が南部及び東部の露軍への抵抗を継続するとともに反転攻勢に向けた準備を進める一方、露軍は東部における占領地拡大に向けた作戦や各地の非軍事施設に対する攻撃を継続している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約6万~7万人 (CSIS2月27日)

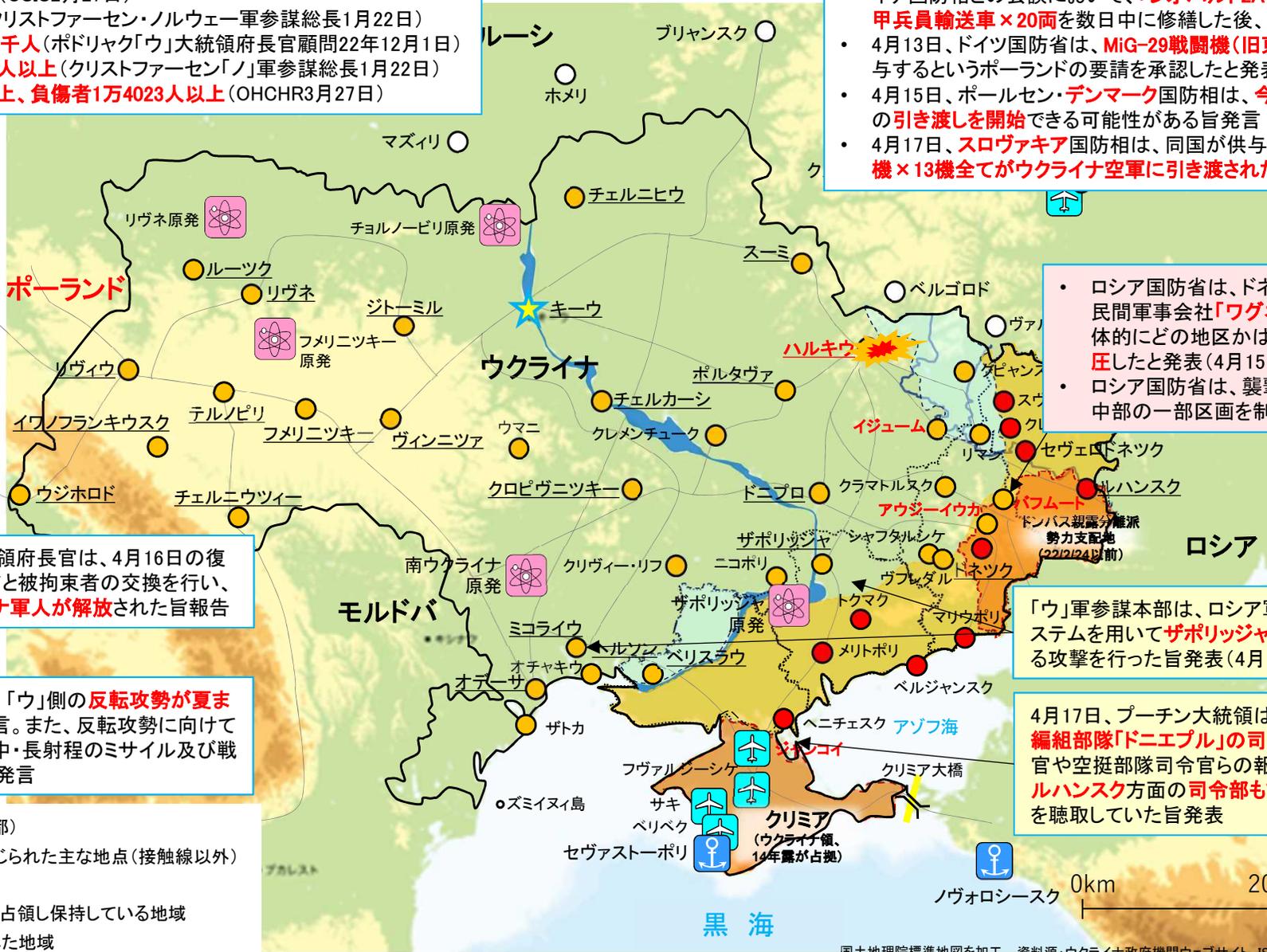
: 死傷者約18万人 (クリストファーセン・ノルウェー軍参謀総長1月22日)

「ウ」軍: 死者最大約1万3千人 (ポドリャク「ウ」大統領府長官顧問22年12月1日)

: 死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: 死者8401人以上、負傷者1万4023人以上 (OHCHR3月27日)

- 4月12日、ロブレス・スペイン国防相は、同国を訪問したレズニコウ・ウクライナ国防相との会談において、「レオパルト2A4」戦車×6両及び「M113」装甲兵員輸送車×20両を数日中に修繕した後、海路で輸送する旨発言。
- 4月13日、ドイツ国防省は、MiG-29戦闘機 (旧東ドイツが保有) ×5機を供与するというポーランドの要請を承認したと発表。
- 4月15日、ポールセン・デンマーク国防相は、今春中に「レオパルト1」戦車の引き渡しを開始できる可能性がある旨発言
- 4月17日、スロヴァキア国防相は、同国が供与を表明していたMiG-29戦闘機×13機全てがウクライナ空軍に引き渡された旨発表。



- ロシア国防省は、ドネツク州バフムトについて、民間軍事会社「ワグネル」部隊が南北2地区 (具体的にどの地区かは明らかにせず) を新たに制圧したと発表 (4月15日)
- ロシア国防省は、襲撃部隊がバフムト北西部と中部の一部区画を制圧した旨発表 (4月17日)

イェルマーク「ウ」大統領府長官は、4月16日の復活祭に合わせてロシアと被拘束者の交換を行い、結果130人のウクライナ軍人が解放された旨報告

シュミハリ「ウ」首相は、「ウ」側の反転攻勢が夏までに開始されうると発言。また、反転攻勢に向けては戦車、火砲、弾薬、中・長射程のミサイル及び戦闘機がさらに必要だと発言

「ウ」軍参謀本部は、ロシア軍がS-300防空ミサイルシステムを用いてザポリジージャ州及びミコライウ州に対する攻撃を行った旨発表 (4月16日)

4月17日、プーチン大統領は、ヘルソン方面のロシア軍編組部隊「ドニエプル」の司令部を訪問し、同部隊司令官や空挺部隊司令官らの報告を聴取するとともに、ルハンスク方面の司令部も訪問し、高級将校らの報告を聴取していた旨発表

- 主要都市 (下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点 (接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域